

## 第1回松本市新型コロナウイルス感染症対策専門者会議医療福祉部会

日時：4月9日（木）午後7時～9時

場所：議員協議会室

出席者：別紙名簿参照

### 1 協議事項（現状と課題）

- (1) 感染拡大の見通しについては、数か月で終わるものではなく長期化の対応が必要となる。
- (2) 長期戦に備え、医療機関の受け入れ体制を早急に検討する必要がある。
- (3) 松本市立病院の入院病床は基準の6床から10数床に増加させる予定だが、オーバーシュートを想定すると少ないのではないか。
- (4) 感染症対策用の減圧室は限られているため、一般急性期病床ないしHCU、ICUの転換を検討。
- (5) 医療現場におけるマスク・フェイスシールドないしゴーグル・ガウン・アルコールが不足している。
- (6) 疑似症者、軽症者病床のための施設確保について早急に検討必要。
- (7) 福祉事業所等で感染が発生した場合、対象者にはライフラインとなっていることもあるため、応援体制が必要。

### 2 結果等

- (1) 市立病院の受け入れ体制について、現在の10床から、1棟58床を増やした場合のシミュレーションを、本田先生、保健所長を中心に早急に作成する。
- (2) 疑似症者、軽症者病床のための施設確保について、旧中信松本病院など市で検討する。（危機管理課）
- (3) 福祉事業所で感染が発生した場合の、応援体制について市で検討する。（高齢福祉課）

### 3 今後の対応

検討した内容について、今後協議していく。